

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日時 平成28年6月23日(木) 10:30~12:15

場所 みのり教室 図工室

対象者 6年生4名、5年生2名、4年生3名

指導者 学級担任2名

教育庁埋蔵文化財調査センター2名

吉賀町教育委員会1名

1. 主題 吉賀町の遺跡を知ろう。古代の人々の生活(お金)について学ぼう。

2. ねらい

○吉賀町の遺跡について学習することで、地域の歴史に対する興味関心を高める。

○和同開珎の製作体験を通して、古代の人々の生活や技術について考える。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項	準備物等
10:30	学習の見通しを持つ	・講師の紹介をする(担任) ・学習の内容やねらいを説明する。 (講師)	パソコン 電子黒板
10:40 (20分)	吉賀町の歴史を知る	・吉賀町の遺跡について話すことで、地域の歴史に関心を持たせる。 ・遺物や資料を活用することで、古代の人々の生活を想像する手立てとする。	学校周辺の遺跡 地図
11:00			
(5分)	〈休憩〉	※図工室へ移動する	
11:05	古代のお金について学ぶ	・和同開珎についての説明をする。	ワークシート
11:15 (50分)	和同開珎の作り方を知る	・和同開珎の作り方を説明するとともに、古代の技術についての指導を行う。	カセットコンロ 体験セット 粘土板
12:05 12:15	学習のまとめをする	・質問や感想を聞き、補足説明や助言を行う。	

4. 準備物等

学校：パソコン、電子黒板、名机(1)、カセットコンロ(4)、粘土板(9)、新聞紙

児童：ノート、筆記用具

埋文：ワークシート、体験セット、土器

5. その他

○活動後、アンケートに記入する。